

知立市SDGs未来都市計画～多文化共生の未来都市知立を目指して～日本人・外国人誰一人取り残さない持続可能なまちづくり～

知立市は、近隣の自動車産業関連企業に勤務する外国人が多く転入しており、外国人割合が近年、右肩上がりに上昇しています。同時に、日本語教育が必要な児童生徒数も増えています。そのため、日本人・外国人が互いを理解し合い、交流し助け合い、誰一人取り残さないで住み続けられる、「多文化共生の未来都市知立」の実現を目指します。

【社会】日本人・外国人が理解し合う子育てしやすいまち

- ◆日本人と外国人の交流の創出 外国人が集住する昭和地区において、地域福祉の推進を目的とする「昭和未来会議」を開催。
- ◆子育てしやすい環境整備 子育て世代の転出を抑制するため、日本人も外国人も安心して子育てできる環境を整備。
- ◆安心して子どもを預けられる学校環境整備 少人数学級による、きめ細やかな指導。日本語が分からない外国人児童生徒に対して、学級に円滑に順応できるようなサポート体制を整備。



多文化共生の未来都市知立



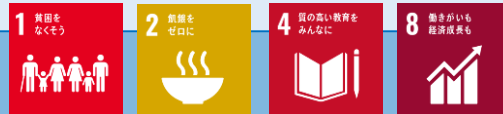
【環境】日本人・外国人が協働するクリーンなまち

- ◆ステークホルダーと連携した環境保全活動の実施 「食品ロス」を防ぐため、家庭で余っている食べ物を回収し、NPO法人等を通して福祉施設等に寄附を行うフードドライブを実施。
- ◆カーボンニュートラルに向けた取組の実施 施設照明のLED化及び空調の高効率化。刈谷知立環境組合で発電（ごみ発電）した電気の購入等。



【経済】日本人・外国人共に仕事で活躍できる賑わい溢れるグローバルシティ～

- ◆雇用機会の創出 企業誘致及び創業支援を行うことで、日本人と外国人が共に仕事で活躍するための雇用機会を創出。



SDGsの普及啓発

- ◆SDGsシンポジウムの開催
- ◆知立市特製SDGs缶バッジの配布
- ◆SDGsアイデアコンテストの開催
- ◆カードゲームを使用したSDGsワークショップ
- ◆広報誌でのSDGs特集の掲載 etc.



地方創生・地域活性化への貢献策

～多文化共生ちりゅう知立（ともだち）協議会～



民間企業等（産）、市（官）、大学（学）が連携し、外国人の雇用及び生活実態に関する意見交換及び情報共有を行い、必要な取組の提言及び調整を行う。

